

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760



住民の願いをまっすぐ届けて4年間

元気いっぱい頑張ってきました!

これからもがんばります!

- ☆ 国保税、介護保険料・利用料の引き下げと減免を
- ☆ 中学校卒業まで医療費無料に
- ☆ 川西病院の充実、病院までの交通網の拡充を
- ☆ 障害者・児の利用料の軽減
- ☆ 美山台・丸山台に中学校の建設
- ☆ 一の鳥居駅から北陵地域からの通学費補助
- ☆ ごみ処理場の情報公開とごみ減量を
- ☆ 保育所や留守家庭児童育成クラブの拡充、値上げストップ
- ☆ 中学校給食の実施
- ☆ 30人学級の実現
- ☆ 税金のムダづかいをなくします

・今までも取り上げてきましたが、これからも粘り強く提案し続けます。



参考2：弱者いじめの行政SR作戦
2005年度(平成17年度) SR効果額

市福祉金見直し	1億600万円
特定疾病患者見舞金見直し	2900万円
福祉医療費対象者見直し	4800万円
幼稚園就園奨励金見直し	3000万円
高齢者交通費助成の休止	1億400万円
水道料値上げ	3億2000万円

市当局は、財政赤字だからといって、行財政改革SR作戦で水道代は昨年も今年も連続値上げ。下水道代も一昨年、大幅値上げになりました。

一方で、中央北地区開発では、皮革工場の下水道代を約7億円分も無料にしたり、国基準では54億円ですむ皮革工場への補償費を89億円に引き上げるなどの大盤ふるまい。

その後も、土地の借り上げ料、たつの市への移転、関連業者への補償(参考1)などには毎年、億の単位で税金をつかっています。

こうしたかたよった、開発優先で市民に犠牲を強いるのは、税金の使い方がおかしいと追及しているのは日本共産党議員団だけです。



参考1 皮革産業関連業種支援補助金 1億8000万円

黒田みちは、高齢者交通費助成費は年間約9600万円、乳幼児医療費無料化では7300万円あれば、小学校入学まで全員医療費を無料にできる、など、阪神間7市1町を調査し、数字をあげて要求。9月議会ではついに市民請願が採択されるどころまでいきました。

「乳幼児医療費の無料化」「高齢者交通費助成復活」の請願の採択でこれから、予算化されますが、小学校卒業まで通院も入院も無料にするために、高齢者の要望があるように、定期券が買える、タクシーにも利用できるなど拡充にむけて、今後とも市民の声を上げていきたいと思います。

「公平」の名のもとに、幼稚園、保育所保育料の値上げ、私立幼稚園の就園奨励費市単独自の廃止という行財政改革SR作戦をやめさせるため、全力で奮闘してきました。

黒田みちは中央北開発を凍結し、その財源を市民のくらしにまわして、行革で削減した住民サービスを復活改善するように強く求めています。

いまの決意

皆さんの声に支えられて、この4年間、16回の議会、1回の総括質問と15回、58項目の一般質問をしてきました。

税金の使い方を監視し、「住んでよかった」と実感できる川西市になるよう、要求実現にむけての発言、活動にこだわっています。

これからも、駅頭や街かどで、市議会の報告ができるように頑張ります。

皆さんと共に考え合っているように、住民こそ主人公の川西市をめざして...。いつも、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願います。

広域ごみ処理場の安全対策 これからが大事

皆さんと共に実現しました

- ☆ 障害者施設での食費軽減など
- ☆ 美山台ミニコープ前信号機設置
- ☆ R173東畦野地域信号機設置
(06年10月9日より工事)
- ☆ 笹部・山下、側溝整備歩道整備
- ☆ 日生中央駅エレベーター設置
- ☆ 歯周病歯科節目検診実施
- ☆ 市立栄保育所廃園2年延期
- ☆ 留守家庭児童育成クラブ土曜
日開設、待機児童ゼロへ
- ☆ DV相談日増設
- ☆ 乳幼児医療費無料化、高齢者
交通費助成制度復活(市民請願採択)
- ☆ 川西病院救急指定に
- ☆ 委託業務の見直し、是正 など
・各地域で、ミラーや飛び出し防止シ
ール設置、危険箇所修理など

猪名川上流広域ごみ処理施設建設はすでに造成工事がはじまっています。総事業費が210億円という巨額を投資する施設ですが、「2億円相当の土地を10億円で購入、施設建設費は他市の類似施設の2倍もの高値。談合情報も寄せられた」と住民訴訟が、行われています。

昨年6月、造成工事がはじまって以来、鉛などの重金属汚濁水が3度も一庫ダムや大路地川に流れ出す、今夏、光化学オキシダント濃度が調査日全日で基準値を超えるなど、環境への影響が心配されるまま進んでいます。

黒田みちは、市民の健康・安全を守る立場で、市民から提出された「情報公開と説明責任を求める」請願を採択するよう、頑張ってきましたが、不採択になっています。

市民の健康、環境を守れ！と追求

一般質問でもこの問題をとりあげ、建設地の川西市としての責任を果たすよう、川西市議会でも、施設組合議会でも追及しています。

市民の大切な税金がむだや不正に使われていないか、事前に談合情報も流れる中で、JFEエンジニアリングや大林組による高値、高率の落札。同時期に契約をしたJFEエンジニアリングは、大阪の阪南市で談合があきらかに、大林組共々、公正取引委員会から1998年までの談合があった事実についての審決がでたことなど客観的事実を調査し、談合疑惑を追求しています。

工事中、稼働後の安全は、もちろん、南部・北部の廃炉の対策についても情報をすべて公開し、行政、議会、市民がしっかりと監視できるシステムづくりを求めています。



市民病院への足、交通網の充実を

バス料金の引き下げなど求め、

阪急バスと交渉

10月5日、川西市役所内で、市民アンケートで寄せられた阪急バスへの要望、13項目を申し入れ、交渉しました。

要望は、料金の引き下げ、乗り継ぎ料金制の実施、最終バスの時間延長、川西病院へのバスルート新設・増便、低床・ノンステップバスを増やすことなど、具体的、切実な内容ばかりです。

担当課長からは、「8月ダイヤ改正で一部増便しているが、今後、路線の見直しなど、利用状況を見ながら、川西市とも調整、検討したい」

「料金引き下げは難しいが、ランドバスなど利用していただいている」「新車購入時は、ワンステップバスを基本にしている」「乗り継ぎ料金制は、研究・検討課題」などの回答がありました。

「交通弱者にとって、公共交通は、命綱。高齢化が進む中、10年先を見通して、公共交通機関の役割を果たしてほしい」と意見が出されました。

黒田みちも、川西病院へ行くのに、日生駅までバス、能勢電車に乗り換え、また、バスで通院していたことを伝え、片道で490円もかかること、時間がかかること、バス1本で病院へ通えるルートを新設、今走っているバスの増便が切実な要求であると訴えました。

また、高齢になっていくのは、誰も同じ。引きこもりにならないように、地域が活性化されるように、利用しやすい公共機関としてのバスの役割を企業と行政、市民が一緒になって考え、市民のための施策作りをしてほしいと伝えました。

これからも、要求実現のために行政にも伝え、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

池田市・箕面市では実施

池田市では「施設循環福祉バス(無料)が、バス4台18コース、年間約3000万円を運行。

箕面市では「公共施設巡回福祉バス(無料)が、バス5台6コース、年間約3500万円を走っています。バス運行は、いづれも、阪急バス委託契約も検討されています。

